

1 調査結果の概要

| | 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 中央値 | 標準偏差 |
|-----------|---------|----------|-----------|------|------|
| 相模原市教育委員会 | 5,261 | 9.2 / 14 | 65 | 10.0 | 3.1 |
| 神奈川県(公立) | 68,738 | 9.3 / 14 | 66 | 10.0 | 3.1 |
| 全国(公立) | 964,177 | 9.4 / 14 | 67.2 | 10.0 | 2.9 |

| 分類 | 区分 | 対象問題数 (問) | 平均正答率 (%) | | | |
|-----------|---------------|---------------------|-----------|-----------|---------|------|
| | | | 相模原市 | 神奈川県 (公立) | 全国 (公立) | |
| 全体 | | 14 | 65 | 66 | 67.2 | |
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能 | (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 5 | 68.7 | 70.1 | 71.2 |
| | | (2) 情報の扱い方に関する事項 | 2 | 63.5 | 64.3 | 63.4 |
| | | (3) 我が国の言語文化に関する事項 | 0 | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | A 話すこと・聞くこと | 3 | 69.9 | 70.4 | 72.6 |
| | | B 書くこと | 1 | 25.6 | 25.6 | 26.7 |
| C 読むこと | | 3 | 70.2 | 70.4 | 71.2 | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 7 | 67.2 | 68.5 | 68.9 | |
| | 思考・判断・表現 | 7 | 63.7 | 64.0 | 65.5 | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 0 | | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 9 | 72.9 | 73.4 | 73.6 | |
| | 短答式 | 2 | 59.2 | 61.2 | 62.7 | |
| | 記述式 | 3 | 47.4 | 48.2 | 51.1 | |

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

○ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したものを選択することはできている。

〔2ー〕

● 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。〔1二〕

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。

○問題

2 ー

相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 運動の効果や種類
- 2 運動の回数や場所
- 3 運動の場所や種類
- 4 運動の効果や回数

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例



軽いジョギング



縄とび(跳けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例



腹筋運動



腕立てふせ

正答率:90.4%
(全国:90.0%)

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで速度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力や筋力を高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

② 相田さんの学年では「健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめること」にしました。次は、「相田さんの考え」と「相田さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】」「【資料2】」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたいな。運動をするって健康にどんないいことがあるのかな。



相田さん

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

○問題 1 二

川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の [] に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、 [] に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【川村さんの文章】

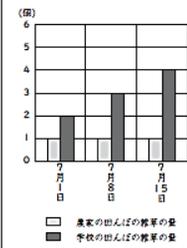
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10個あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【カード①】

6月24日

- ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- ・そのまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいさようするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日

- ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
- ・調査さかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日

- ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが足りていないと考えられる。
- ・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日

- 【農家の石山さんのお話】
- ・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

- 【学校でできる解決方法】
- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

「川村さんの考え」
雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

<条件>

○学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。

○問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)



【学習のポイント】

伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいかを考えるようにしましょう。また、推敲(すいこう)する際は、図表やグラフなどの用い方は適切か、文章で説明を加えた方が分かりやすい部分はないかなどの観点で見直していくことが大切です。

○趣旨

漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

○問題 1 三(1)(2)

(1) _____部ア、ウを漢字でていねいに書きましょう。

雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えて

きて、とてもこまりました。

【正答】 意外

正答率:51.0%
(全国:52.8%)

(2) _____部イを書き直したものと適切なるものを、次の1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。

ウきかんは7月1日から15日までです。

【正答】 期間

正答率:67.4%
(全国:72.6%)

1 比らべて

2 比べて

3 比て

正答率:92.0%
(全国:93.1%)

【学習のポイント】

日頃から、漢字を文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるとともに、各学年で学習する漢字を文や文章の中で積極的に使うようにしましょう。

1 調査結果の概要

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 中央値 | 標準偏差 |
|-----------|---------|-----------|-----------|------|------|
| 相模原市教育委員会 | 4,957 | 10.4 / 15 | 69 | 11.0 | 3.3 |
| 神奈川県(公立) | 60,261 | 10.4 / 15 | 70 | 11.0 | 3.4 |
| 全国(公立) | 892,738 | 10.5 / 15 | 69.8 | 11.0 | 3.4 |

| 分類 | 区分 | 対象問題数 (問) | 平均正答率 (%) | | | |
|-----------|---------------|---------------------|-----------|-----------|---------|------|
| | | | 相模原市 | 神奈川県 (公立) | 全国 (公立) | |
| | 全体 | 15 | 69 | 70 | 69.8 | |
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能 | (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 2 | 64.8 | 66.3 | 67.5 |
| | | (2) 情報の扱い方に関する事項 | 2 | 62.5 | 63.7 | 63.4 |
| | | (3) 我が国の言語文化に関する事項 | 3 | 72.0 | 71.7 | 74.7 |
| | 思考力、判断力、表現力等 | A 話すこと・聞くこと | 3 | 82.9 | 82.5 | 82.2 |
| | | B 書くこと | 2 | 64.1 | 64.6 | 63.2 |
| | | C 読むこと | 4 | 64.9 | 64.2 | 63.7 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 7 | 67.2 | 67.9 | 69.4 | |
| | 思考・判断・表現 | 9 | 70.7 | 70.4 | 69.7 | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 0 | | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 7 | 73.8 | 73.9 | 73.1 | |
| | 短答式 | 4 | 62.2 | 63.3 | 65.6 | |
| | 記述式 | 4 | 68.8 | 68.1 | 68.0 | |

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

○文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することについてはできている。〔2〕三

●情報と情報との関係について理解することに課題がある。〔1〕二

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる。

○問題 〔2〕三

正答率:76.6%
(全国:74.2%)

【A】(岸見一郎『本をどう読むか』による。)

【B】(小林秀雄「読書について」による。)

中山さんは、【A】と【B】の文章で述べられていることを次のようにまとめました。次の と に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

読書の楽しみについて、【A】では ということが、【B】では ということが述べられている。

- 1 同じテーマの本を何冊も読むことで、ものの見方を広げる
- 2 一人の作家の代表作を選んで読むことで、その作家の特徴をつかむ
- 3 同じ本を再度読むことで、以前と違う自分に気付く
- 4 一人の作家の全集を隅まで読むことで、その作家の性格や個性を知る

【正答】

ア ⇒ 3
イ ⇒ 4

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

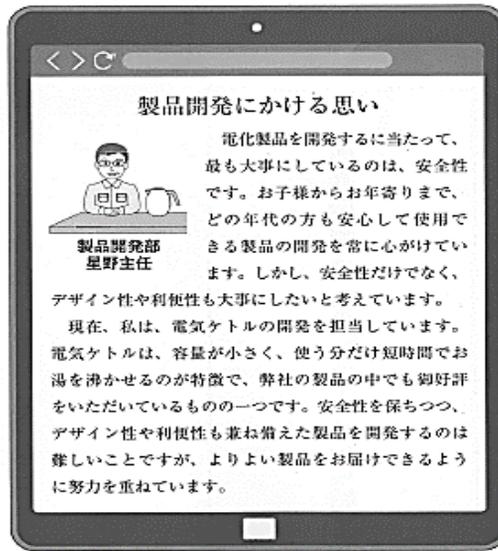
意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

○問題 1 二

南さんが【インタビューの前に準備したメモ】に
線部①『安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい』と考えるのはどうしてか。」と書いたのは、【インターネットの記事】のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なもの一つを選びなさい。

- 1 事例は示されているが、星野さんとの考えとは内容が矛盾している点。
- 2 事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。
- 3 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
- 4 星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。

正答率:63.7%
(全国:65.1%)



【インターネットの記事】

1

南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の【インターネットの記事】、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈インタビューの目的〉

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

【インタビューの前に準備したメモ】

【学習のポイント】

相手の意見を理解したり自分の意見を述べたりするためには、原因と結果、意見と根拠など、話や文章の中に含まれている情報と情報との関係について理解することが重要です。学習する際には、考えとともに考えの拠り所となる事例が示されているかを確認するなど、話や文章の中に示されている考えと、それを支える根拠との関係を明らかにすることができるようにしましょう。

○趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

○問題 4 一

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

<原文>

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に～(省略)

<原文>の 線部「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

正答率:76.4%
(全国:82.5%)

【正答】
「いひける」

【学習のポイント】

歴史的仮名遣いで書かれている言葉をどのように読むのかを確認し、その規則性について整理しながら確認するなど、文語のきまりを文章の具体的な表現と結び付けて理解できるようにしましょう。